



BOOK TALK



編集・発行 海南高校図書館
2017. 12. 20

今号のBook Talkを担当させてもらう社会科の山崎です。恥ずかしながら、最近あまり本を読まなくなってしまったのですが、読書自体は昔から好きで、よく図書館に通ってました。社会科の教師ですが、読む本は社会系より推理系が好きです。今回、「私と本の歴史」について、色んなことを思い返しながら書きました。読んでもらえたら幸いです。

～私と本の歴史～

小さい頃から、市立図書館で2週間に一回程度本を借りるのが私の習慣でした。そのきっかけを与えてくれたのは母親で、幼い頃よく私と弟を図書館へ連れて行ってくれました。読書にはまった時期は、自分の貸出カードで借りられる冊数では物足りず、家族にも借りてもらった記憶があります。

小さい頃読んだ本で今でも覚えているのは、『こまったさん』、『わかったさん』シリーズや『かいけつゾロリ』、『ズッコケ三人組』などです。人物の『伝記』も好きで、様々な人の生き方を知って、子どもながらに「すごいな～」と思っていました（特に『キュリー夫人』の伝記が好きで、一時科学者になりたいと思っていたことも…）。

コナン・ドイル

文章量の多い本も読めるようになり、一番はまったのは、『シャーロック=ホームズ』シリーズでした。図書館にあるものは全て読破し、一度だけではなく何回も借りました。なぜあんなにはまっていたのか…内容がとにかく面白い。スマートフォンもA I



（人工知能）も出てきませんが、イギリスを舞台とするシャーロック=ホームズの世界観がとても好きです。図書館に置いてあったこのシリーズの装丁（古くて味のある感じ）も気に入ってました。この出会いが、推理ものが好きになるきっかけだったのかもしれませんが、『怪盗ルパン』シリーズやアガサ=クリスティの作品など、様々なものを読みました。最近のものでは、東野圭吾さんの『マスカレード・ホテル』も面白かったです。（今度映画化されるみたいです。）

こうやって、小学校・中学校とコンスタントに読書を楽しんでいた私ですが、高校に入り勉強が忙しくなるにつれ、読書の冊数は激減してしまいました。『ハリー・ポッター』シリーズは読破しましたが、時間を上手に作ってもっと色んな本を読んでおけばよかったな…と今更ながらに思います。

そして大学に入り、本は趣味で読むというよりは、勉強のために読む方が多くなりました。大学時代の友人が伊坂幸太郎さんの作品が好きだったこともあり、貸してもらってよく読みましたが、基本的には社会や歴史に関係のある本ばかり読んでいた気がします。『刀狩り』、『日露戦争』、『熊野古道』、『日本国憲法』など、多くの本との出会いがありました。この出会いを与えてくれたのは大学の先生方です。課題のレポートを仕上げるため、授業で使うためなど、必要に駆られて読んだ本も多かったのですが、当時の自分では手に取らないタイプの本とも出会わせてくれたことにとても感謝しています。

さて、つらつらと述べてきましたが、最後に私が今まで読んだ本の中で、おすすめの本を3冊紹介します。日々新しい記憶が入ってくる中で、過去に読んだ作品も「どんな内容だったっけ？」と忘れていくことが多いのですが…しかし、この3冊はとても印象に残っています。興味を持った人は、ぜひ読んでみて下さいね。



～想像力豊かに～

『ハッピーバースデー』

この本は、読書感想文で課題図書にもなった本です。多忙でアダルトチルドレンの母の一言から、言葉を失った主人公のあすか。自分は生まれてこないほうがよかったとまで考えたあすかが、祖父母の愛や友の死を経て、自分自身「ハッピーバースデー」といえるようになるまでの物語です。当時中学生だった（小学生だったかも…）私は枕を涙でぬらしながら読みました。実はこの本、この数年後文芸書版として再び発売されます。本を買うよりは図書館で借りることの方がいい私ですが、この本は発売されたのを知り即購入。大人になってから読んだ二度目の『ハッピーバースデー』もとても感動して、しっかり泣きました。

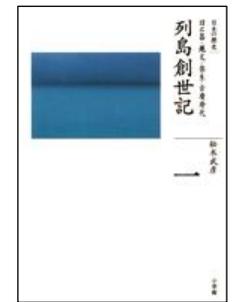
文芸書版



～知識をつける～

『全集 日本の歴史』全16巻

この本は、教員として正式に採用されてから大学時代のゼミの先生にお会いしたとき、教えてもらった本です。厚みがあって、一見難しそうに見えるのですが、中身は非常に読みやすいです。歴史の教科書には載っていないことも知ることができて面白い！最新の研究成果が盛り込まれていて、新しい視点から歴史を学ぶことができます。特に庶民の様子などは興味深かったです。



～活力をつける～

『佐賀のがばいばあちゃん』

この本を手にとったきっかけは忘れてしまったのですが、とにかくこのおばあちゃんがすごい！自分にはないものを沢山持っています。日々の生活に感謝し、前向きに生きることの大切さを感じる、そんな作品でした。おばあちゃんの名言にもぜひ注目してください。笑いあり、涙ありの感動作です。読書初心者にもおすすめの1冊です。



皆さんは、読書していますか？冬休みは読書の時間を取るには絶好の機会ではないでしょうか。私も冬休み中に何か一冊読みたいと思っています。みなさんもぜひ、こたつや布団のお供に一冊、手にとってみたいいかがでしょうか？

〔余談〕  「今でしょ！」の 

この間、あるテレビ番組で林先生が「読書」をテーマにお話されていました。林先生は、文章は構造体であり、論理的な展開には熟練の技術が必要だと述べ、「文章の立体構造はどうすれば身につくのか」という質問には、「読書すること」と回答されていました。自分の伝えたいことを論理的に述べる力をつけるためにも、読書って大切ですね。

また、ネット通販等の普及と全国の本屋の減少についても話されていました。インターネットの普及で、読みたい本を即座に検索・購入できるようになったが、本屋ではその本以外の本にも出会うことができる。そういう「寄り道」や「余剰」が「知を得ること」だというお話でした。私もそういう寄り道が大切だと思います。皆さんも、ぜひそんな寄り道をするべく、図書館や本屋へ足を運んでください。お目当ての本とは別に、新しい出会いがあるかも…！

